

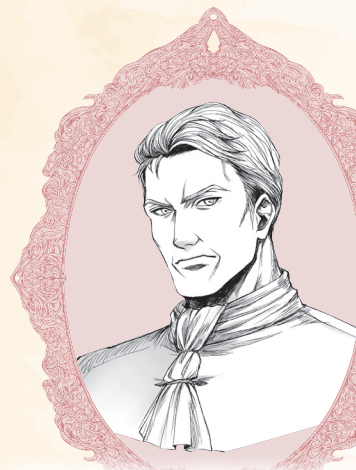
黄金の光が作る影は、やがて闇となる。

繁栄を極めた大国に、
倒国の鐘が鳴り響くとき、
神与の瞳に映るものは——!?



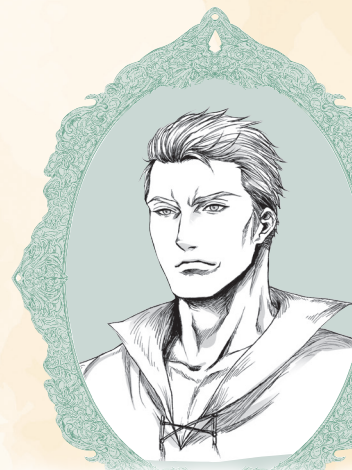
アントーシャ

魔術師の青年。魔術師団長の身内であるため、凡庸ながら一等魔術師であることを「魔術師団長の七光り」と揶揄されているが……?



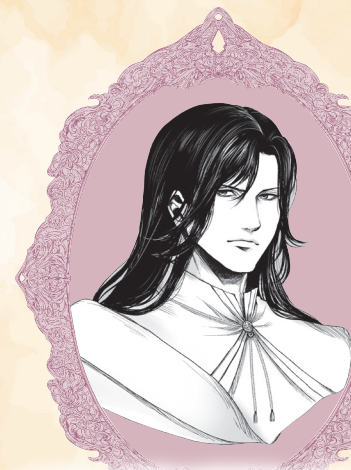
オローネツ辺境伯爵

王国北西部の大領を統治。英傑として知られ、領民や臣下の者たちからの信頼が厚い。アントーシャを息子のように思い、見守っている。



ルーガ

オローネツ領の代官。オローネツ辺境伯爵に忠誠を誓っており、部下たちからは「親父さん」と呼ばれ親しまれている。



エリク王

ロジオン王国の現国王。常に冷静で、容易に内心を覗かせない。正妃や側妃との間に複数の王子がいるものの、王太子は未定。

STORY

黄金の国と称されるロジオン王国において、圧倒的な中央集権国家を維持し、華やかな貴族社会を支えている「報恩特例法」。しかし、地方領に住む人々は、この“稀代の悪法”によって蹂躪され、辛苦し続けていた。祖国の現状を憂う、大魔術師・ゲーナと、その甥の孫・アントーシャ。周囲から凡庸だと評されているアントーシャが真の力を解放するとき、この国の歴史が大きく動き出す。

彼は、**救国の神**か、それとも**亡国の悪魔**か——。

ファンタジー
群像小説

オラトリオ
『フェオファーン聖譚曲』シリーズ

董乃蘭 著
イラスト: つよ丸

opsol
book